

知ってますか
技術の

あれ
これ

18

東日本大震災に思う(1)

リスボンの大地震とカント



三浦 基弘

MUURA Motohiro

元大東文化大学講師
土木学会100周年記念誌編集委員

東日本大震災がおきる

2011(平成23)年3月11日14時46分18秒。地面が大揺れ。筆者はこの日、種苗研究家の取材を終えた帰り、埼玉県飯能市のある蕎麦屋で、同行者の農家の古老と一緒に食事をしている最中の出来事であった。

この地震は、牡鹿半島(宮城県)の東南東130km、仙台市の東方70kmの太平洋沖の海底を震源とする。地震の規模は、マグニチュード9.0。日本周辺では、観測史上最大の地震。震源域は広大で岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmで、およそ10万km²とされる。最大震度は宮城県栗原市で観測された震度7で、宮城・福島・栃木・茨城の4県36市町村と仙台市内の1区(宮城野区)で震度6強を観測された。この地震は、東日本大震災と命名された。

リスボンの大地震

かつての調査で、世界の地震年表を作成したことがある。ヨーロッパでも大地震があった。今からほぼ260年前の1755年に起きたリスボン大地震(図-1)。11月1日午前9時40分、西ヨーロッパの広い範囲で強い揺れがあり、ポルトガルのリスボンを中心に大きな被害があった。震源はサン・ヴィセンテ岬の西南西約200kmと推定されている。マグニチュード8.5。この地震で、津波による死者を含めて6万人の犠牲者を出したといわれる。火災と津波で、語源が良港という意のリスボンは廃墟と化した。市内は幅5mの地割れが

発生し、多くの建造物は崩壊した。生き延びた市民は崩壊した建造物を避け、港の空き地に殺到した。ところが引いた海水が、地震から40分後に津波となって押し寄せ、水位があがり、港から市街地一帯を飲み込み、テージョ川を遡った。津波はその後2回市街地に押し寄せた。津波の影響を受けなかった地域では火の手が上がリ、5日間燃え続けたという。リスボンの建造物の85%が破壊され、宮殿や図書館も失った。王立文書館に所蔵されていたヴァスコ・ダ・ガマらの大航海時代初期の航海者が遺した貴重な記録も流された。カルモ修道院(写真-1)は今も廃墟のまま、当時の災害の爪痕を残している。ポルトガルのほかの町でも同じような惨禍に見舞われたのである。これによりポルトガル経済は大打撃を受け、海外植民地への依存度を増した。国内の政治的緊張が高まるとともに、



図-1 リスボン大地震